

マザアス
ニュース

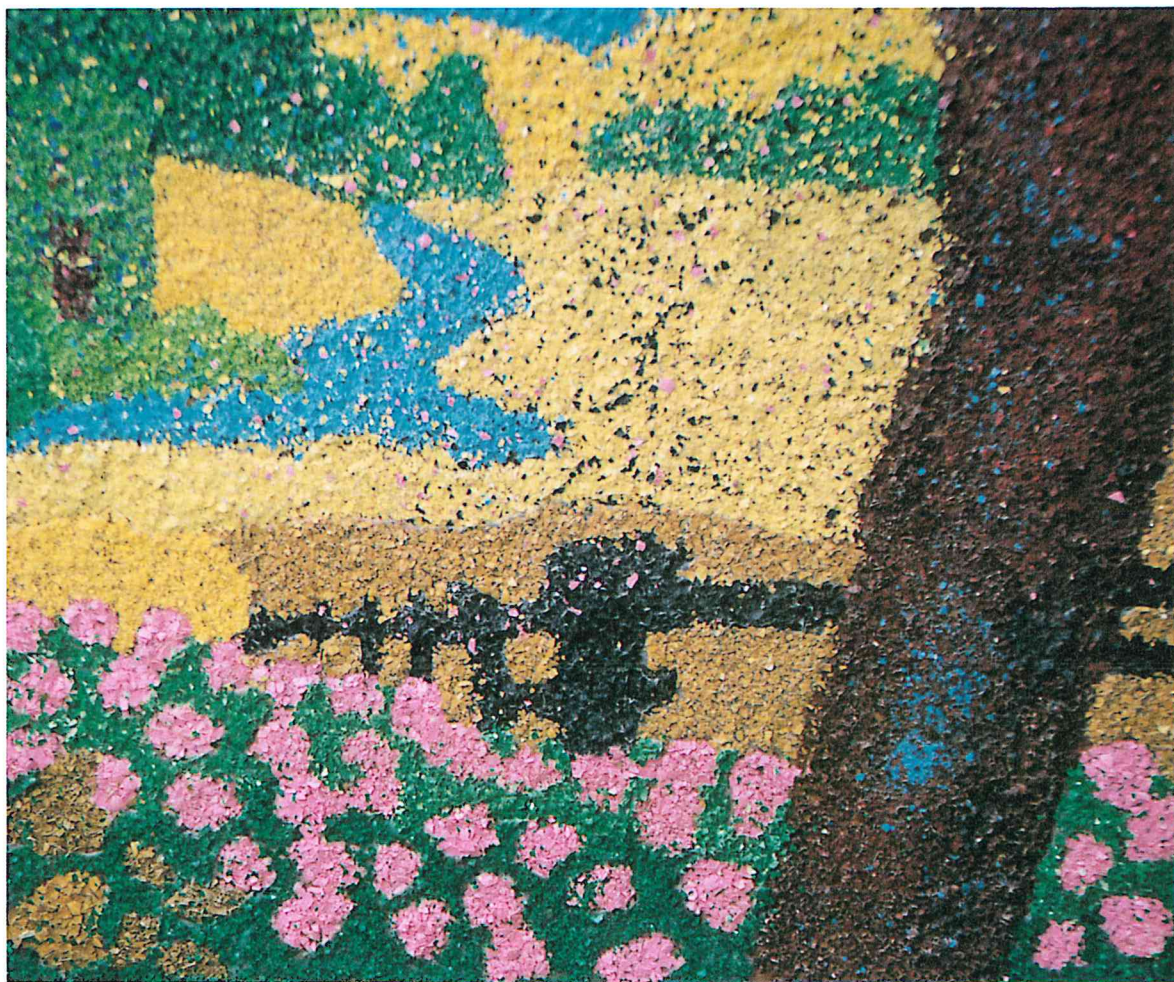
ひだまり

1998・4

第 8 号

題字 高野 ひろ（入居者）

発行/ 社会福祉法人 マザアス 特別養護老人ホーム マザアス東久留米 高齢者在宅サービスセンター マザアス氷川台
〒203-0004 東久留米市氷川台二丁目5-7 ☎0424-77-7261 FAX77-7500
発行責任者 高原 敏夫 編集責任者 山崎 宣子



テイサービス利用者作成による卵モザイク 「春爛漫」

「私は3歳！！」

副施設長 今沢 隆一郎

マザアスは、満3歳の誕生日を迎えようとしています。何をやっても可愛らしいといっ
ては赦されてきたこれまでとは違って、いい
気になって悪さをしようものなら周りの人か
らはこづかれ、時には鬼の形相で叱りとばさ
れかねません。思い通りにいかない苛立ちに、
悪態をついては泣き叫ぶやんちゃ坊主の年頃
になったと言えましょうか。

そんな折りに、2年後には待ったなしでス
タートする介護保険法が成立しました。手厚
い措置・委託という温室の中で育まれてきた

老人福祉施設は、競争という世界に晒される
ことになります。何で急に世の中が変わるの
だと、駄々をこねていても始まりません。

マザアスはより質の高い福祉サービスを提供
し続け、利用者から選ばれる施設になりたい
と思います。そのためにはより弾力的な法人
運営が必要です。適材適所の人事配置や適
正な基準に基づく人事考課制度の導入も必須
です。若い施設だからこそ、職員こそってこ
の試練に立ち向かえると確信しています。

特養便り

「節分の会」の巻

2月4日に一日遅れの節分の会を1・2階で午前と午後に分けて行ないました。1階においては5名の入居者より節分の思い出が披露されました。ここで発表させていただきます。

子供の時、お父さんが先頭をきって豆まきをした後で、お姉さんやお兄さんと一緒に豆をひろって食べたそうです。(平野 マツ)



平野 島崎 小菅 篠崎 伊藤(敬省略)

家で豆まきをした記憶はなく、近くの神社の境内で豆まきをしました。その帰りに、家族で料理屋に入ってご馳走を食べるのが楽しみでした。(篠崎 弘)



子供の頃、まだお母さんが生きていた時、お母さんにご馳走の重箱(野菜の煮物)を作ってもらい、友達の家に遊びに行ったそうです。(伊藤 ツネ)



田舎(三重県)であまり楽しみがなかったのに、節分のような行事が楽しみでした。豆を年の数だけ食べていましたが、40歳くらいに歯が悪くなり、食べられなくなりました。私と長男、孫と3人寅年です。私は剛の寅で、主人は丙午でした。(小菅 しづへ)

御主人に「鬼は外」は大声で、「福は内」は小声で唱えていたことが忘れられない、とのこと。(島崎 淑)



声の欄

老人の心(性格)

マザアス嘱託医 高山 英一
(東久留米市医師会会長)

人間の心は古い、環境、家庭構造などによって大変に変化し、異なり動揺するものです。老人になりますと肉体的、精神的低下(脳機能低下)などにより、若いときより孤独感、不安感(病気その他)などが増してくるものです。これら老人の心を少しでも軽減させるには、社会的な面での援助、若い者一人一人の老人に対する思いやり、優しさが大切です。またその様にやらねばなりません。

日本は戦後急速な経済成長をとげ、国民の生活は豊かになり、町には物があふれておりますが、経済の上昇に反比例して、日本人は大切な心を失ってきています。また、少年による犯罪殺人事件などが毎日のように放送されており、自分さえ良ければ他人の事はどうでもよいという気風が充満しております。国民一人一人が、今こそ物の豊かさではなく心の豊かさを取り戻すよう努力し、心の教育、家庭教育を一層進めるよう考えるべきです。

老人になると多くにみられる性格変化があります。「心と性格」は真の意味で異なるのでしょうか、相入るものもあるかと考えま

す。どのようなものがみられるかといいますと「愚痴っぽい」とか「疑い深い」「頑固になる」とかわれています。これは老年期の性格の変化あるいは老人癖と呼ばれているもので、その他に「自己中心的」「でしゃばり」「保守的」「偏屈」「あきらめ」「活動性減退」「義理堅い」などがあげられます。老人の正格変化には三つの方向があり、①若い頃の性格が顕著になるもの(例えば、のん気者が鈍感や無節操に、節約家がけちんぼうになる)②逆に丸みが出て、調和的になるもの(例えば、内気なものが外交的に、短気なものが角がとれる)③老人癖のでももの、の三つをあげることができます。これらの性格変化は、従来は脳の老化によって生じる必然的な結果と考えられていましたが、最近では特殊な病気の場合を除いて、環境や心理的な原因による変化であると考えられます。

以上老いの心の一部を記しましたが、専門家でない為今後まだまだ老人の心理を勉強したいと考えています。



～知って得する在宅福祉サービスの現状について～



老いて病気や障害者になっても、住み慣れた家や地域で出来るだけ生活したいと大方の人は願うでしょう。マザアスにもその様な願いを持った方からの相談があります。個人差はありますが大体高齢になるにつれ、色々な変化に対し肉体的にも精神的にも順応しづらくなります。例えば、入院して痴呆症状が出てきた、ショートステイを利用する毎に家に帰ってもしばらく変になる等、これらは環境の変化に順応できなくなった一つの表れでしょう。身体的にも発熱したり便秘したり、体調を崩したりといった変化がみられます。話題になった、いわゆる“呼び寄せ老人”も同じ様なことが生じるといわれます。その人らしく生きる為にも住み慣れた環境はいかに大切かがわかります。地域での福祉が整ってサービスが充分に受けられ、地域の方々の支え合い、ノーマライゼーションの心が浸透した地域であれば、住み続けることができるでしょう。では、今あるサービスはどうでしょう？まだまだ量的にも質的にも種類も充分とは言えません。まず、今どの様なサービスがあるかを知って頂き、あきらめないで相談して下さい。ここでは『在宅生活』にかかせない諸サービスをご紹介します。



訪問診療

体が弱ってきて、自分で通院できない時の命綱となるのが訪問診療です。皆さんもいざという時のためにも“かかりつけ医”をもち訪問診療を利用しましょう。

訪問看護

医師による往診まで至らなくても定期的な健康チェック、身体看護（例えば床ずれの処置など）や医療・病気の相談などを行います。（ただし、医師の指示書が必要。）市内4つの訪問看護と近郊の清瀬市、新座市、田無市の各市内の訪問看護活動があります。



病院

病院には機能によって次の種類があります
救急指定病院・総合病院・一般病院・リハビリ病院・療養型病床群・介護力強化病院。さらに、ホスピス（緩和ケア）病棟のある病院もあります。



老人保健施設

老人保健法で設置されている施設。一般的に「老健」と呼ばれます。ショートステイは2週間、入所は原則3ヵ月です。残念ながら東久留米市内にはありませんが、近郊の清瀬市・田無市・東村山・小平・新座の各市内にあります。

民間諸サービス

公共のサービス以外に、社会福祉協議会などの民間団体や企業でも多様なサービスがあります。ホームヘルパー派遣、移送、訪問給食（夕食の配達もあります）が主な内容です。

これからの介護者教室のお知らせ

今年度は、次の三つの柱で開催する予定です。詳しい日程、内容は後日お知らせ致します。

1. 家庭介護の実践的な技術について。
2. 老人の生理、病気、（痴呆症も含む）生き方等、知識的なこと。
3. 地域へ出向いて、介護相談や各福祉サービスの紹介、地域で生活されている高齢者の諸問題の情報交換等。



高齢者在宅サービスセンター
マザアス氷川台
看護婦 佐田 康子
相談員 久松 信夫

クラブ紹介



料理クラブ

軽食程度の料理を一緒に作り味わい楽しもうということで、始めた料理クラブ。初めは職員にも入居者にもとまどいがあり、なかなか要領よく出来なかったが、回を重ねることにスムーズに出来るようになり、美味とはいかないまでもマザアスレストランにいる人でしか味わえない料理を作れたと思います。

ただ欲を言えば、もう少し多くの方に参加してもらえたら良かったかな、とも感じています。レストランでしか作れない一品を作るつもりです。興味のある方は是非ふるって参加して下さい。ちなみにその時までメニューはもちろん内緒ですよ。

(寮父 ニツ森 正秀)



消防演習

2月28日(土)、東久留米市消防署と消防団合同による消防演習が、マザアスで行われました。



マザアス自衛消防隊も19名が参加し、火災を想定した救出救助、応急救護、放水等、皆真剣そのものでした。

ご寄付ありがとうございました。心より感謝いたします。(敬称略させていただきます。)

H9・12月~H10・3月

《個人》阿部幸子 伊藤房代 岩井工三
川原てつ 佐藤キヲノ 白岩正夫
東海林悦郎 根本和次 町中元子
森田道子

《団体》銀杏会

ご卒業おめでとうございます



〈六小交流会〉3月7日

楽しい「思い出」をありがとう

ボランティアコンサートより

2月7日(土)、リターナル・フェル 3世 (混声合唱団)の皆様による第4回ボランティアコンサートが開かれました。入居者、職員、近隣の方々を含め百人以上の方が聴かれました。

コンサートでは、入居者の書かれた「詩」に作曲をして、出来立てホヤホヤの歌を披露してくださいました。

90年の人生を語った「詩」と、マザアスへ愛を込めて書かれたという「マザアスの歌」の二点をご紹介します。

この世が 私の人生ならば
水に浮かんだ 浮草のごと
風に吹かれて ゆれながら
明日の希望に 泣きはしない



作 伊藤 ツネ(入居者)

マザアスの歌

作 志賀 妙子(入居者)

1. 氷川台は 丘の上
樹々の芽ぐむ 春浅く
そよ風撫でる ひだまりに
憩う人あり マザアスの庭
2. 昔は ぐみや ゆすら梅
小鳥のついでに 初夏の頃
今も香りの 花くらべ
雲遊びおり マザアスの朝
3. さくら草と ランタナと
歌を唄いて 日は過ぎる
今日も変わらぬ 一日を
祈る人あり マザアスの空



編集後記

今号でお別れするスタッフの方、お疲れさまでした。💖

創刊から2年。作り上げる充実感を8回も感じられた楽しい経験でした。

佐々木 友紀(員)

聞くこと、触れること、信頼すること、そして優しさの中から生まれた「ひだまり」に幸あれ。

小河 光江(ボランティア)

かくれた特技をお持ちの方々に感心ばかり、お仲間に入れて頂いただけで幸せでした。

志賀 妙子(入居者)